

# 令和7年度鬼崎学区 大地震・大津波発生時の対応一覧

【問い合わせ】各学校の校務主任 鬼崎北小（0569-42-0222）  
 鬼崎南小（0569-35-2422）  
 鬼崎中（0569-42-0221）

## I 大規模な地震（震度5弱以上）発生時の対応（登下校・授業の扱い）について

	地震発生	津波の恐れなし	津波注意報	津波警報・大津波警報
在 校 中	鬼崎北小	運動場へ ～退避開始	鬼崎北保育園に退避し、保護者に 引き渡します	かもとり坂公園に退避し、 保護者に引き渡します
	鬼崎南小	運動場へ	運動場で保護者に引き渡します	常滑市体育館に退避し、 保護者に引き渡します
	鬼崎中	運動場へ	運動場で保護者 に引き渡します	常滑高校に退避し、保護者に引き渡します
登下校中	○当日の授業は中止します。 ○通学路近くの安全な場所または避難場所（地震一時避難場所、避難所 裏面参照）に避難 します。 ☆余震や津波の恐れがありますので、十分注意をしてください。			
在 宅 中	○当日の授業は中止します。 ☆余震や津波の被害から身を守るように適切な行動をしてください。 ※被害状況等を確認したうえで、常滑市教育委員会または学校から、授業再開に関する 連絡があります。それまでは休校になります。			

※各校の別紙『大地震（震度5弱以上）発生時対応マニュアル』もあわせてご覧ください。

## II 大津波警報・津波警報・津波注意報発表時の登下校・授業の扱いについて

大津波警報	○上記の大規模な地震発生時の対応に準じます。
津波警報	
津波注意報	○常滑市において地震の震度が5弱以上の場合は、上記の対応に準じます。 ○常滑市において地震の震度が4以下の場合は、3校で協議し、対応を決定します。

※自動車でのお迎えは、当日、交通渋滞と混乱が予想されますので、ご遠慮ください。

※上記のような状況において児童・生徒を安全に避難させるために、学校の電話は、緊急連絡手段としての機能を確保しておく必要があります。保護者の方から学校への電話による問い合わせは、緊急性があるものを除いては、ご遠慮いただくようお願い申し上げます。

※大地震や津波の発生を想定して、事前に家族で避難場所などを話し合っておいてください。

※大津波警報、津波警報への対応は、今後、常滑市や愛知県により新しい基準や指示が出される可能性があります。そのときには上記の対応が変わることがあります。

### Ⅲ 南海トラフ地震臨時情報発表時の対応について

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするものです。

情報名	南海トラフ地震臨時情報
情報発表条件	○ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ○ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
学校での対応	【巨大地震警戒】情報収集を行いながら、通常の活動を継続します。校外で活動している場合、活動場所を鑑み、帰校の可能性を考えての活動を継続します。 【巨大地震注意】災害時の備えを確認しながら通常の活動を継続します。 【調査中または調査終了】通常の活動を継続します。

- 本情報を発表していなくても、南海トラフ沿いの大規模地震が発生することもあります。
- 南海トラフ地震関連解説情報が提供されることもあります。情報の収集に努めてください。

#### 〔資料〕

#### 1 地震一時避難場所・避難所（鬼崎学区内）※標高5m未満は除いてあります。

▲は標高10m未満のため、大津波警報発表時は退避など配慮が必要です。（ ）内は標高。

【地震一時避難場所】災害発生時に一時的に避難する場所	
鬼北小 校区内	鬼崎北保育園園庭(10.3m) ▲蒲池ちびっ子広場(5.6m)
鬼南小 校区内	神明グラウンド(13.1m)、榎戸神明社境内(10.0m)、 榎戸公会堂付近の空地(12.6m)、 鬼崎中保育園園庭(12.6m)、▲明和児童館広場(5.6m)、 多屋公園(12.9m)、市営住宅遊園地(17.3m)、 多屋茨廻間児童遊園(18.1m)
【避難所】災害発生時に、一定期間滞在できる施設	
鬼北小 校区内	鬼崎北保育園(10.3m)
鬼南小 校区内	とこなめ市民交流センター(12.1m)、 榎戸公会堂(12.6m)、鬼崎中保育園(12.6m)、 ▲多屋公民館(7.5m)
校区外	◎常滑市体育館(38.5m)



#### 2 気象庁が発表する「津波警報・注意報」

種類	予想される津波の高さ		とるべき行動
大津波警報	巨大	10m超	ただちに 高台に避難
		10m	
		5m	
津波警報	高い	3m	ただちに海岸、河川から離れる
津波注意報	(なし)	1m	

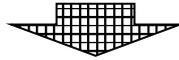
#### 3 災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板について

大規模な災害が発生したときには、NTTの提供する災害用伝言ダイヤル（171）や、携帯電話各社で災害用伝言板などのサービスが提供され、家族や知人間での安否確認などに活用できます。

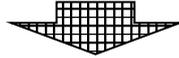
利用方法などは各社のホームページなどで確認してください。

# 大地震（震度5弱以上）発生時対応マニュアル

## 大地震発生



### 第1次避難（机の下など）



### 第2次避難（運動場へ）

- 震度の発表および大津波・津波警報、津波注意報発表を待たずに、第2次避難行動を開始する。
- 校長…全体を指揮する。
  - 教頭…状況報告を受け避難の指示をする。ラジオで情報を得る。  
※ラジオ・携帯電話等で、地震および津波の情報を確認する。（地震発生後3分以内に出る。）
  - 教務主任・校務主任…ラジオ、引き渡しカードを持ち出し「校外避難経路の状況確認」に行く。
  - 授業中の教員…生徒の避難を誘導する。
  - その他の職員…避難支援・救助にあたる。

**大津波警報発表**  
3m~10m  
(巨大)

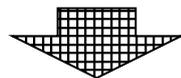
**津波警報発表**  
1m~3m  
(高い)

**津波注意報発表**  
~1m  
(浸水の可能性)

津波の心配なし  
  
運動場で、  
保護者に引き渡す

※1分以上揺れた（海溝型地震）場合は、津波が起こる可能性が高い。

校舎の破損の有無、津波の高さ、  
大津波警報・津波警報・津波注意報の有無にかかわらず、  
ただちに高台へ避難する。



#### 【鬼崎中学校の現状】

- ①標高1.2mで、津波による浸水予想地域
- ②鬼崎中および周辺…液状化の危険性
- ③大津波・津波警報発表時に避難場所にならない。

## 第3次避難 常滑高等学校に避難する

- ラジオ等で、現況（震度、警報・注意報、被害状況・予想など）を把握し、適切な行動をとる。
- 被災状況の把握と安全確認ができるまでは、生徒を常滑高等学校に留める。
- 安全確認ができた後、常滑高等学校にて保護者等（引き渡しカードに記載された人）への引き渡しを開始する。

※常滑市において震度4以下の地震であっても、津波の恐れがある場合、状況に応じて3校で協議し、対応する。

	第1次避難	第2次避難	第3次避難
鬼崎北小学校	机の下など	運動場～鬼崎北保育園	かもとり坂公園
鬼崎南小学校	机の下など	運動場	常滑市体育館
鬼崎中学校	机の下など	運動場	常滑高等学校